

令和5年度 第2学年 技術科 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」等 各学校・教科で必要 なもの
4月	・生物育成の技術とは何だろうか	2	・生物育成の技術の目的を知る。 ・生物育成の技術についてまとめる。	B(1) アイ	・生物を育てる技術の目的について理解している。(知) ★主体的に生物育成の技術について考えようとしている。(態)	提出物	コミュニケーション能力
5月	・作物の成長を管理する技術	4	・生物の成長に合わせて育成計画を立てる。	B(1) アイ	・作物の育成環境を調節、管理する技術について理解し、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。(知) ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。(思)	態度 提出物	コミュニケーション能力 表現力
6月	・栽培実習	4	・安全に配慮し、成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う。 ・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。 ・人と動物との関わりについて知る。 ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。	B(1) アイ	★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ★自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)	実技 定期テスト 態度 提出物	情報活用力 コミュニケーション能力 表現力
7月		2	・家庭、学校、地域、社会における生物育成の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。	B(1) アイ	・育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思) ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)		
	これからの生物育成の技術	1	・持続可能な社会の構築のために、これからの生物育成の技術について考える。	B(1) アイ	★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		
9月	情報の技術とは何だろうか 情報のデジタル化 情報通信ネットワークの仕組み 安全に利用するための情報モラルとセキュリティ	4	・情報技術の利用について知る。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・情報の数値化として処理していることを知る。 ・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係について理解する。 ・情報通信ネットワークの仕組みと、情報をやりとりする仕組みについて知る。	D(1) アイ D(2) ア	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。(知) ・情報通信ネットワークの構成と情報を利用する仕組みについて理解している。(知) ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。(知) ・情報通信ネットワークの構成と情報を利用する仕組みについて理解している。(知)	定期テスト 提出物	情報活用力 表現力
10月	ティ 情報の技術の工夫を読み取る 安全に利用するための情報セキュリティ	4	・情報セキュリティを実現するための要素を知る。 ・情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティの重要性について考える。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェア	D(1)アイ	・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。(知) ★情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。(態)	定期テスト 態度	
11月	情報の技術の工夫を読み取る	4	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。	D(1) イ	・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思)	定期テスト	情報活用力 表現力
12月	双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか	3	・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。	D(2)アイ	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。(知) ★主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。(態)	定期テスト	情報活用力 表現力

1月	問題を発見し、課題を設定しよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。 	D(2) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) 	定期テスト	情報活用力 コミュニケーション能力
2月	コンテンツのプログラムを制作しよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。 	D(2) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) 	テスト 態度 実技	コミュニケーション能力
3月							
		35					